

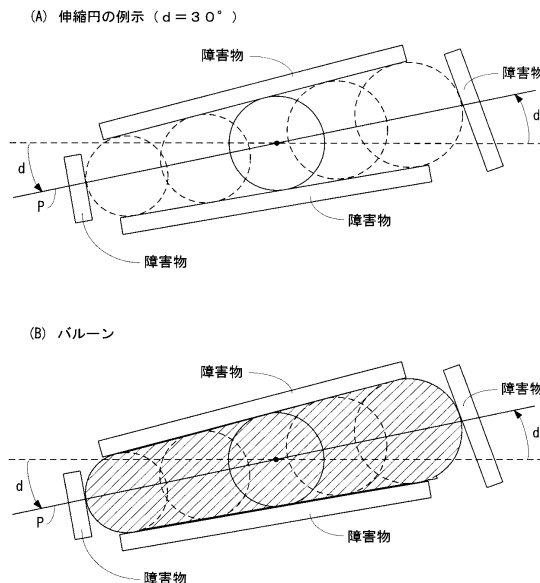
技術の名称

コミュニケーションのための領域分割方法

適用分野

コミュニケーションロボット

- 目的 人間とのコミュニケーションを図ることができる領域を抽出する。
- 効果 本発明は、障害物に接触しない円同士を結合した領域をコミュニケーション可能な領域として抽出しているため、コミュニケーションロボットはその抽出された領域内に居る人間とジェスチャーや音声によってコミュニケーションを図ることができる。
- 技術概要 本発明は、コミュニケーションロボットが人間とのコミュニケーションを図ることができる領域を抽出して分割するための領域分割に関するもので、障害物が存在する環境を俯瞰する地図上に任意の直線Pを引き、その直線Pに中心を持つ複数の円を描画し、その円の半径を障害物に接するまで拡大し、その最大に拡大された円同士を結合してその外周をコミュニケーション可能な領域として抽出し、分割する。

特記事項、
図など

- 主たる提供特許 特許等の名称: 領域分割装置、領域分割プログラムおよび領域分割方法ならびにコミュニケーションロボット
登録番号:
出願番号: 特願2010-041839 出願日: 平成22年2月26日
公開番号:

- 実施実績 有、 ○無
- 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先 株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-1171, 1195 E-mail ; patent@atr.jp